

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和6年12月6日(2024.12.6)

【公開番号】特開2023-77849(P2023-77849A)

【公開日】令和5年6月6日(2023.6.6)

【年通号数】公開公報(特許)2023-104

【出願番号】特願2021-191332(P2021-191332)

【国際特許分類】

A 63 F 7/02 (2006.01)

10

【F I】

A 63 F 7/02 320

【手続補正書】

【提出日】令和6年11月28日(2024.11.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項1】

所定条件が成立することに基づいて、遊技者に有利な特別遊技状態に制御するか否かの判定を実行可能な遊技制御手段と、

前記判定の結果を示唆する判定結果演出を実行可能な演出制御手段と、を備え、前記遊技制御手段は、

遊技者に付与される賞球数に基づく特定計測数を計測可能とし、

前記特別遊技状態に制御されているときに前記特定計測数が予め定められた基準数以上であって当該特別遊技状態が終了すると、遊技を実行不能に制御可能とし、

前記演出制御手段は、

30

前記判定結果演出において、前記特別遊技状態に制御される期待度を示唆する期待移行演出に移行可能とし、

前記判定結果演出において、前記期待移行演出への移行を示唆する期待示唆演出を実行可能とし、

前記判定結果演出において、前記期待示唆演出を実行する前に、前記期待移行演出への移行を示唆する事前移行示唆演出を実行可能とし、

前記期待移行演出には、低期待移行演出と、前記低期待移行演出よりも前記特別遊技状態に制御される期待度が高いことを示唆する高期待移行演出とがあり、

前記期待示唆演出には、前記低期待移行演出への移行を示唆する低期待示唆演出と、前記高期待移行演出への移行を示唆する高期待示唆演出とがあり、

前記判定結果演出における所定の分岐時点で、前記低期待示唆演出が実行されると前記低期待移行演出に移行される、一方で前記所定の分岐時点で、前記高期待示唆演出が実行されると前記高期待移行演出に移行されることを特徴とする遊技機。

40

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

ところで、遊技機では、遊技者が継続した遊技によって、過剰な賞球を獲得することがあ

50

り得る。この場合、遊技機が遊技者に対して過剰な賞球を付与しないようにすることはなかった点に改良の余地があった。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明の遊技機は、

所定条件が成立することに基づいて、遊技者に有利な特別遊技状態に制御するか否かの判定を実行可能な遊技制御手段と、10

前記判定の結果を示唆する判定結果演出を実行可能な演出制御手段と、を備え、
前記遊技制御手段は、

遊技者に付与される賞球数に基づく特定計測数を計測可能とし、

前記特別遊技状態に制御されているときに前記特定計測数が予め定められた基準数以上であって当該特別遊技状態が終了すると、遊技を実行不能に制御可能とし、

前記演出制御手段は、

前記判定結果演出において、前記特別遊技状態に制御される期待度を示唆する期待移行演出に移行可能とし、

前記判定結果演出において、前記期待移行演出への移行を示唆する期待示唆演出を実行可能とし、20

前記判定結果演出において、前記期待示唆演出を実行する前に、前記期待移行演出への移行を示唆する事前移行示唆演出を実行可能とし、

前記期待移行演出には、低期待移行演出と、前記低期待移行演出よりも前記特別遊技状態に制御される期待度が高いことを示唆する高期待移行演出とがあり、

前記期待示唆演出には、前記低期待移行演出への移行を示唆する低期待示唆演出と、前記高期待移行演出への移行を示唆する高期待示唆演出とがあり、

前記判定結果演出における所定の分岐時点で、前記低期待示唆演出が実行されると前記低期待移行演出に移行される、一方で前記所定の分岐時点で、前記高期待示唆演出が実行されると前記高期待移行演出に移行されることを特徴とする遊技機である。30

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明によれば、遊技者に過剰な賞球を付与しない遊技機を提供することが可能となる。